

並木4丁目にお住いの皆様

つくば市生活環境部環境保全課長

特定外来生物「セアカゴケグモ」の定着について(注意喚起)

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から環境行政に御理解御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、並木4丁目地内で、外来種のクモである「セアカゴケグモ」が定着・繁殖している場所が確認されました。セアカゴケグモは噛まれると痛みや腫れを引き起こす有毒なクモですので、注意喚起のため、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 発見の経緯

令和6年(2024年)7月から8月にかけて、市民の方からの通報により、セアカゴケグモを多数確認しています。確認したセアカゴケグモは、その場で殺処分しています。

2. セアカゴケグモの特徴

別添のチラシ又はつくば市ホームページを御覧ください。

3. 咬まれた際の症状・対応

- セアカゴケグモには攻撃性なく、こちらから触らなければ咬まれることはありません。
- 咬まれた箇所には痛みや痒みが生じ、重症化すると吐き気や腹痛などの全身症状が現れる場合もあります。
- 咬まれた際は速やかに医療機関に御相談ください。その際、咬んだクモの種類がわかるように、クモの死骸を病院に御持参ください。(セアカゴケグモは外来生物法で「特定外来生物」に指定されており、生きたままの移動が禁じられています。)
- 医療機関の受診後、つくば市役所環境保全課に御一報いただけますと幸いです。

4. その他

新たにセアカゴケグモを発見した場合、又はこの件に関して御不明なことがあった場合は、つくば市役所環境保全課までお問合せください。

お問合せ

〒305-8555

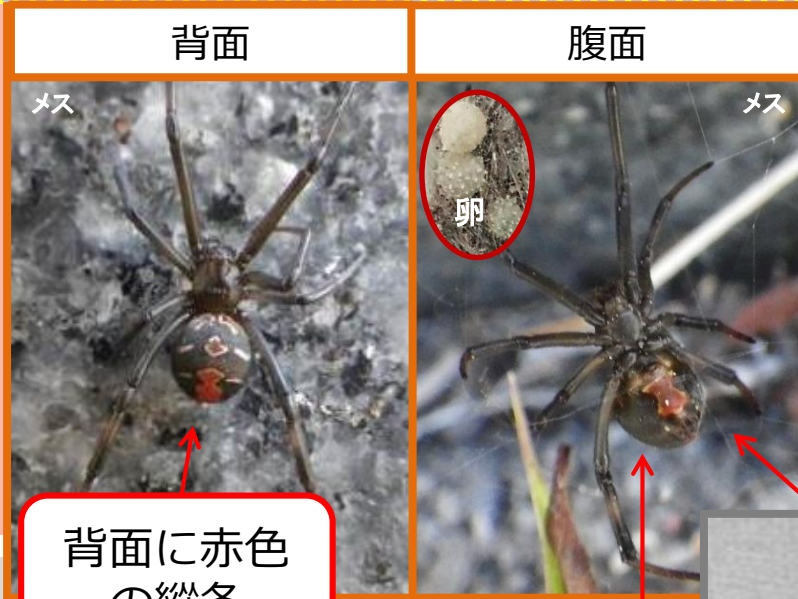
つくば市研究学園一丁目1番地1

つくば市 生活環境部 環境保全課

担当：茂木

電話：029-883-1111(代) 内線 4350

# セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



**和名** セアカゴケグモ  
**科名** ヒメグモ科 (Theridiidae)  
**学名** *Latrodectus hasseltii*  
**原産地** オーストラリア  
**特徴** 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。  
 全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に  
 目立った赤色の縦条がある。

※左写真は、若い個体であり、  
 成熟すると白い斑紋は消える

腹部は大きな球状

背面に赤色  
 の縦条

腹面に赤色の斑紋

**和名** ハイイロゴケグモ  
**科名** ヒメグモ科 (Theridiidae)  
**学名** *Latrodectus geometricus*  
**原産地** 亜熱帯地方  
**特徴** 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。  
 ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部  
 背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として  
 斑紋を有するものなど変異が多い。



腹面

背面

## ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

### 咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、  
 区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、  
 時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの  
 全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

### 咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関に  
 ご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が  
 必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば  
 殺したクモを病院へご持参ください

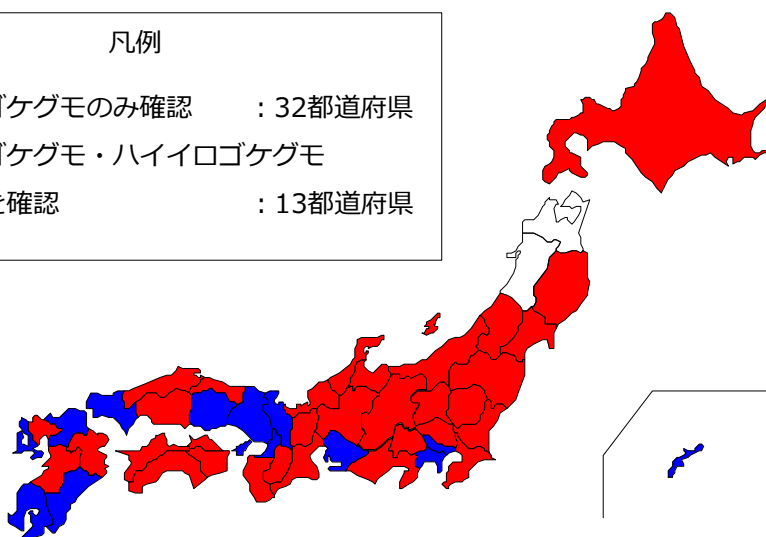
### 咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありません  
 が、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6~10月にセアカ  
 ゴケグモの咬傷例が報告されて  
 おり、ほとんどが軽症ですが、  
 重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で  
 死亡した例はありませんが、  
 オーストラリアでは死者が出て  
 います  
 (血清開発後の死亡例はありません)

# 今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが 確認された都道府県（45都道府県）（2019年8月8日現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む

凡例	
■ セアカゴケグモのみ確認	: 32都道府県
■ セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ の両方を確認	: 13都道府県



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

## ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します  
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

## ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります  
(生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意)
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるため、よく確認するなど注意してください

## ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

## セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、 外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>